

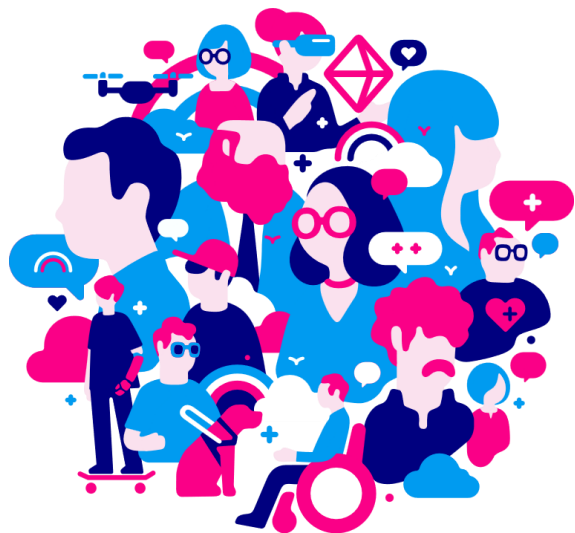
りんごプロジェクト

NPO法人ピープルデザイン研究所

2023年度活動報告



2020年の超福祉の学校プロジェクトからはじまった (障害のある人の生涯学習の場をつくるプロジェクト)



ホームページ



超福祉の学校@SHIBUYA
NPOピープルデザイン研究所×文科省



りんごプロジェクトのメンバーたち

事業名	アクセシブルな図書を通じた学びの機会を促進する「りんごプロジェクト」
実施期間	令和5年5月18日から令和6年3月8日
場 所	図書館、学校、イベント会場、オンライン、ラジオ
事業内容	図書館や特別支援学校、公立小学校、企業団体と連携し、誰もが参加できるアクセシブルな図書の体験会を実施
背景及び目的	<p>2019年に読書バリアフリー法が制定され障害者サービスが以前より充実してきたが、当事者や支援者には十分周知されていない。図書館職員の意識にも差がありサービスが進んでいない地域がある。障害だけではなく日本語を母語としない子どもたちが増えているにもかかわらず学校図書館の対応は遅れている。これらの諸問題に向き合うために本プロジェクトではさまざまな場所でアクセシブルな図書の体験会を行う。障害者が利用できる図書資料の普及啓発を行い、障害のある児童生徒の学習支援の拡大を行うことで、図書館の障害者サービスの向上を目指し、卒業後の学びの機会を増やす。また、障害の有無に関係なくすべての人が読書を通じて豊かな経験を得ること、またすべての人に情報を届けることがインクルーシブな社会を実現する一歩になる。さらに、この活動は読書を通して障害の社会モデルについて考える機会を提供し、誰一人取り残さない情報社会、インクルーシブな社会の実現を目的とする。</p>

今年度の 取り組み状況

今年度はアクセシブルな図書の体験会を14回開催しのべ5000人の参加があった（小学校5校、中学校2校、公共図書館1回、展示会への出展4回、公園などでのイベント出展2回）また横浜市と協力し啓発動画の作成や株式会社の協力で新しくパンフレットを作成したり公共のスペースで展示会を開いたりすることができ、障害当事者だけではなく広く一般市民に普及啓発することでバリアフリー図書を本当に必要とする人に届けることに貢献することができた。また読書バリアフリーの周知が進むことで「りんごの棚」の知名度も上がり、全国の図書館からの問い合わせが昨年より多かった。我々の活動は障害者の生涯学習の土台を作る活動であり、共生社会づくりのための土を耕す活動である。今年度の取組は社会に出る前の子ども達と多く活動を共にすることができ、福祉や障害について新たな気づきや体験を提供することができた

※詳細は後述ページ参照

※経費は別紙の会計報告参照

活動の効果

- ① 新パンフレットをデザイン会社に発注し、より質の高いものを作成したことにより周知範囲が広がり、さらに参加者への知識提供につながった。
- ② イベント会場への出展は広く一般の人への周知になった。またブースに立ち寄った人によりSNSに情報がアップされるなど副効果も生じた
- ③ 小学校での出張授業は30分程度の講師によるレクチャーと体験会、質疑応答を通して児童にとってより深くアクセシブルな図書について知れて学びが深まることを実感した。更に児童自らが「りんごの棚」の制作を行い、探求学習のきっかけにもなった。「福祉は障害のある人のものだと思っていたけどみんなの幸せのためのものだと分かった」など、思いもよらない感想があり、子どもの柔軟な発想力や相互関係の構築力を感じる事が多くあった。
- ④ 新聞・ラジオ・冊子などの媒体を通して活動を知ってもらうことが出来た。
- ⑤ 横浜市教育員会と協働で啓発動画を作ったことは大きな成果だった

6月3.4日

渋谷おとなりサンデー



渋谷のラジオ・シブコネ金曜で月に1回発信活動
 超福祉ラジオのコーナーパーソナリティ
 アーカイブ<https://note.com/shiburadi/m/mf95733707f41>



YouTube番組に出演



230611 『みらくるTV』 高次脳機能障害特番〜りんごプロジェクト 古謝由美、玉木和彦

参加者のべ80名
 子育て世代の参加が多かった

【横浜市立盲特別支援学校 図書館】訪問



りんごプロジェクト
パンフレットリニユーアル
5000部作成



「みる、さわる、きく」いろんなカタチの読書方法があります ～読書バリアフリーの理解促進に取り組みます～

横浜市では、令和元年度に成立した「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（通称、読書バリアフリー法）」を受けて、附属機関「横浜市社会教育委員会議」において、横浜市の取組の方向性について議論いただき、令和5年2月に提言が取りまとめられました。このたび、本提言に基づく取組として、障害の有無に関わらず幅広く市民の皆様へ読書バリアフリーの理解を深めていただき、助け合い・支え合いの機運を醸成するために各種啓発活動を実施します。

取組 1 読書バリアフリー展の開催

「バリアフリー図書」の体験「啓発動画（取組2）の放映」「啓発パネル展示」など、読書バリアフリーについて分かりやすくお伝えする企画展を開催します。

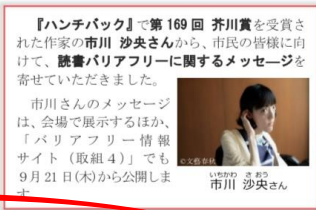
（※）バリアフリー図書 「文字の大きさや色を変える」「内容を音声で読み上げる」など、自分に合った方法で読める本です。パソコン・タブレット・スマートフォン・専用機器などを使用して読む形式のものもあります。

- 開催日：令和5年9月21日（木）～10月2日（月）
○ 会場：市庁舎2階プレゼンテーションスペース
○ 内容：バリアフリー図書体験コーナー 啓発動画（取組2）の放映 タペストリー、パネルの展示 等

〔中央図書館においても、9月20日（水）～10月9日（月・祝）に読書バリアフリー展示を実施します。〕



展示タペストリー



『ハンチバック』で第169回 芥川賞を受賞された作家の市川 沙央さんから、市民の皆様に向けて、読書バリアフリーに関するメッセージを寄せていただきました。市川さんのメッセージは、会場で展示するほか、「バリアフリー情報サイト（取組4）」でも9月21日（木）から公開します。

取組 2 読書バリアフリー啓発動画の配信

「バリアフリー図書」「読書支援機器」「図書館サービス」など、読書バリアフリーに関する情報について、デモンストレーションを交えながら紹介する動画を作成しました。読書バリアフリー情報サイト（取組4）において配信します。

【協力】りんごプロジェクト（NPO法人ピープルデザイン研究所） すべての人に読書の楽しみを体験してもらうために、学校や図書館などで、バリアフリー図書の紹介や出張体験会を行う団体です。



【裏面あり】

取組 3 読書バリアフリー啓発リーフレットの配布

読書バリアフリーに関する情報をまとめたリーフレットを作成しました。図書館や区役所のほか、読書に困難を抱える方が日頃よく利用される施設や医療機関等で配布します。

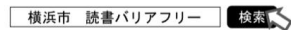
- サイズ：A4判（A3判2つ折り）
○ 発行部数：15,000部
○ 配布場所：市内図書館、18区役所、地域療育センター、医療機関（眼科）等
○ 内容：「バリアフリー図書」「読書支援機器」「図書館サービス」の紹介と利用方法案内
○ その他：「バリアフリー情報サイト（取組4）」にも掲載



取組 4 読書バリアフリー情報サイトの開設

これまで点在していた読書バリアフリーに関する支援情報を集約し、ポータルサイトとして情報発信を行います。

【URL】 https://www.city.yokohama.lg.jp/curashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/sonota/bokku/barrierfreetop.html



【参考1】読書バリアフリー法とは

- ・ 目が見えない、見えにくい
・ 学習障害などの発達障害により、文章を読むことが難しい
・ 腕や手などに障害があり、本を持つことやページをめくることが難しい
などの読書に困難を抱える方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできることを目指す法律です。

【参考2】横浜市の読書バリアフリーの取組の方向性について

有識者や当事者の方で構成される附属機関「第33期横浜市社会教育委員会議」の提言（令和5年2月公表）では、読書バリアフリー法に基づく取組の方向性として、4つの重点取組が示されています。横浜市では、本提言を踏まえて読書バリアフリー施策を検討・実施します。

- 重点取組1 連携・協働による視覚障害者等が利用しやすい書籍等の製作
○ 重点取組2 インターネットサービスの利用促進
○ 重点取組3 図書館職員、司書教諭、学校司書等の人材育成
○ 重点取組4 効果的な広報・啓発戦略

お問合せ先 教育委員会事務局生涯学習文化財課長 小野寺 紀子 Tel 045-671-3236

横浜市教育委員会2023/9/19 記者発表資料より

読書バリアフリー展@横浜市庁舎

2023年9月21日 - 10月2日



横浜市 【メニュー7】
読書バリアフリー啓発動画、
読書フリー啓発リーフレット





横浜市立杉田小学校
6年生 体験会 2023/9/21



ダイバシティパークin新宿

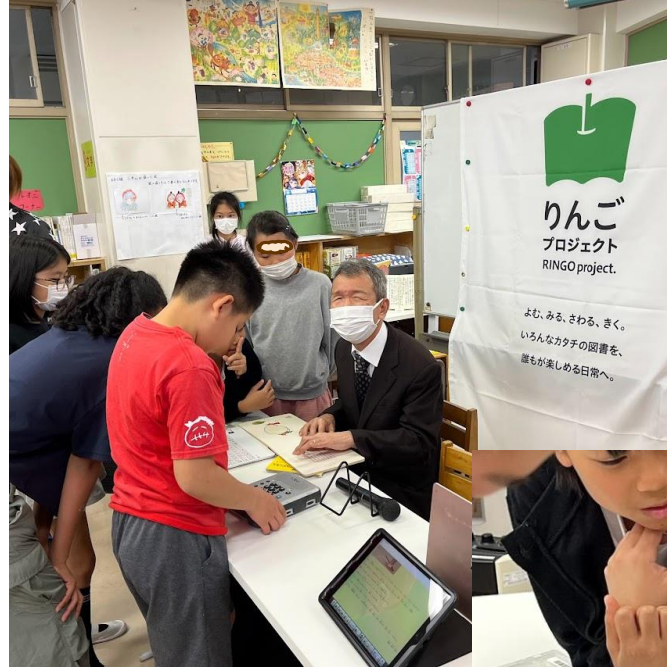
2023/9/30-10/1

参加者のべ400名



2023年5月3.4年生

横浜市立本牧南小学校 シトリンプロジェクト



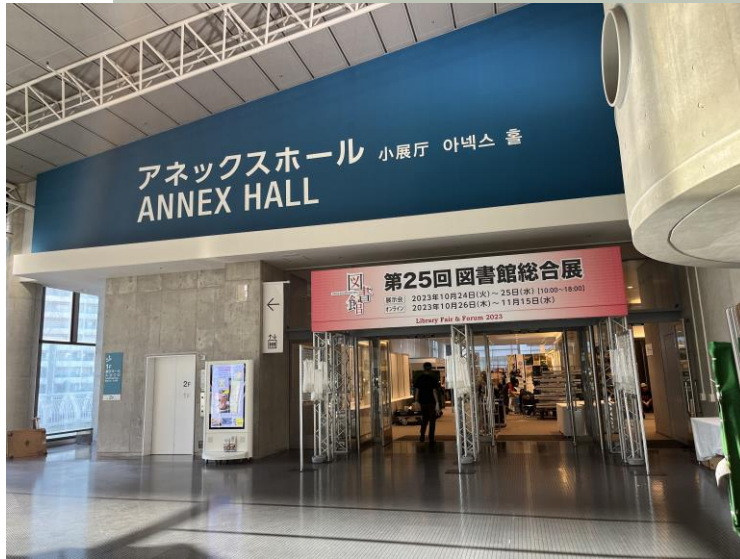
10月30日 5年生



11月29日ブックフェスタ



図書館総合展@パシフィコ横浜 (2023/10/24-25)



SAIFUKU × りんごプロジェクト

埼玉福祉会&りんごプロジェクト

アクセシブルな図書館づくりに! 図書館に関わる皆さんと一緒に「りんごの棚」を広めたい!

はじめよう! りんごのたな

りんごの棚がどんどん広がっています

「りんごの棚」は、障害のある方などに向けたアクセシブルな資料を集めた棚で、スウェーデンで生まれました。日本では埼玉県の小川町立図書館で初めて作られ、その後各地に広がっています。このパネルでは、各図書館の「りんごの棚」の様子をご紹介します。

小川町立図書館

埼玉県立久喜図書館

横浜市中央図書館

宝塚市立良元小学校

横浜市立大瀬小学校

豊島区立中央図書館

横浜市立山内図書館

横浜市立和泉小学校

横浜市立森川図書館

横浜市立登ヶ谷小学校

山内図書館の「りんごの棚」は特別な「りんごの棚」を特別に設置し、子供たちが自由に利用できるようにしています。

宝塚市立良元小学校の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

横浜市立和泉小学校の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

横浜市立森川図書館の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

横浜市立登ヶ谷小学校の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

山内図書館の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

宝塚市立良元小学校の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

横浜市立和泉小学校の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

横浜市立森川図書館の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

横浜市立登ヶ谷小学校の「りんごの棚」は、子供たちが自由に利用できるようにしています。

参加者のべ700名

図書館総合展2023HPより

超福祉の学校 10月27~29日@渋谷ヒカリエ



ホームページ



参加者のべ1000名



シンポジウム
YouTube動画



公明党新聞に掲載

渋谷区立神南小学校4年1組の総合学習に伴走

読書バリアフリーの取組をきっかけに子どもたちの共生社会への理解が深まった

12月7日出張授業で体験会

超福祉の学校で校外学習



児童がつくった「りんごの棚」

1月12日横浜市立大道小学校で体験会



2月4日超福祉の学校@みき

参加者延べ300名



2月25日『夢の運動会』@渋谷区立原宿外苑中学校

参加者80名

不登校児をサポートする団体主催のイベント

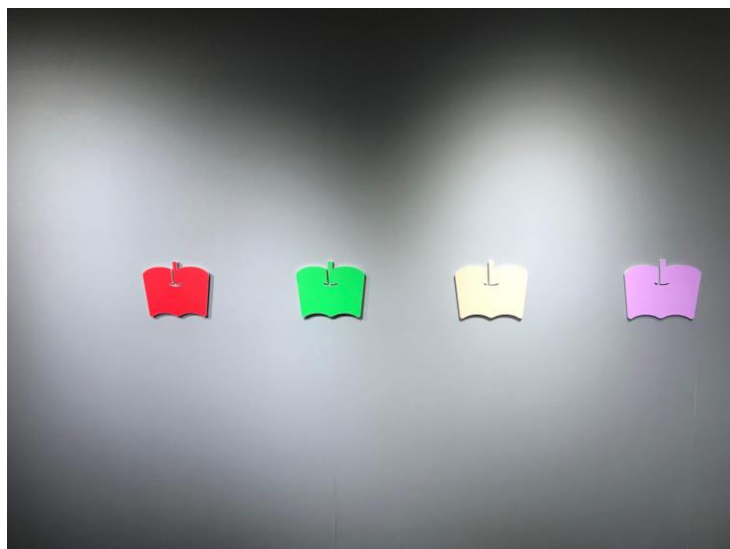
読み書きに課題を抱えている子どもをいるので参加者の関心は高かった



2月22日～4月24日初のオリジナル展開催(写真は予告展示の様子)
みて！きいて！さわって！からだで感じる読書展@絵と言葉のギャラリーミッカ



ミッカホームページ



令和5年度横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「よこはま読書パーク」に出展



公式サイト



今年はステージでトークショー開催



ブース来客数200名

展示スペースが広がり
点字体験教室を初開催

